

令和 8 年 2 月 2 4 日

株式会社博報堂

加古川市立志方中学校長 沼田圭子

委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 1 2 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

・委嘱概要

特別委員氏名	沼田 圭子
委嘱期間	令和 7 年 6 月 1 8 日～令和 8 年 2 月 2 8 日
実践タイトル	COP SHIKATA カーボンニュートラル社会へチャレンジ！ ーThink Globally Act Locallyー

・実施事項

志方中学校の生徒が、エネルギーの現状を地球規模で捉え、住んでいるふるさと志方でできることを考える機会を設けたいと考えた。そこで、地球温暖化問題に取り組むこととおして、国際的な視点でものごとをみる力を養い、ふるさと志方に密接した活動に取り組む行動力を培うことを目的として、エネルギー教育におけるめざす生徒像を COP SHIKATA として次のように定めた。

Compassion 地球規模の環境問題をとおして国際社会や地球環境へのやさしさ・思いやりをもつ生徒

Output 研究成果の発表をとおして世界に発信できる主体性をもつ生徒

Powerful 高い専門的な学びに果敢に挑戦し、社会のために積極的に行動できる生徒

兵庫教育大学の山本照久先生の指導のもと、職員への研修も実施（令和 7 年 7 月 1 5 日）し、1 年総合的な学習の時間を中心に、以下の取組を実施した。

1. エネルギー講演会（令和 7 年 6 月 2 4 日）

「カーボンニュートラルチャレンジ」と題して、兵庫教育大学の山本照久先生を講師に 1 年生対象の講演会を実施し、地球温暖化の概要や現在の地球規模のエネルギー問題について知る機会となった。

2. カーボンニュートラルチャレンジ ワークショップ（令和7年7月15日）

カーボンニュートラルに取り組む企業（関西電力、大阪ガスネットワークス）と地元企業（しかたファーム）を招き、用意した教室に各企業のブースを設け、ポスターセッション方式で説明を聞いたり、実験をしたりして、現状を学んだ。

3. カーボンニュートラル 夏休み個人研究

カーボンニュートラルチャレンジとして、生徒ができる取り組みを見つけるため、夏休みの研究課題として、各自が選んだ外国、企業、日本の自治体のカーボンニュートラルの取組を調べ、その研究内容を発表するためのプレゼンスライドを作成した。

4. カーボンニュートラルチャレンジ プレゼンバトル（令和7年9月10日）

夏休みの研究成果をクラスごとにプレゼン発表し、発表内容を共有するとともに、クラス代表を5人ずつ選び、学年代表者選考を行った。

5. 学年代表プレゼン（文化発表会：令和7年10月30日）

学年代表2名（当日1名欠席）が、文化発表会のプログラムの一つとして、全校生の前で発表した。

6. 活動リーフレットの配布（令和8年2月24日）

ここまでの取組をリーフレットにまとめた。今年度内に全校生保護者、地域の方々、本校教職員に配布する。

7. エネルギー関連施設の見学（令和8年1月28日）

1年間の研究のまとめとして、実際にカーボンニュートラル実現に取り組んでいる神戸市で最も大きな下水処理場である東灘処理場を見学し、体験をとおして現状を知ることができた。

・成果

- ・カーボンニュートラルチャレンジ・ワークショップに招いた企業の取組や個人研究を通して、自身や学校のできる取り組みを考えるようになった
- ・1年生を中心にした取り組みが、文化発表会を通して、全校生に広まった
- ・地球規模の課題に挑戦する中で、地元企業の取組を知るなどして、ふるさと志方の良さに気づくことができた
- ・カーボンニュートラルチャレンジの取組が、地元紙に取り上げられたこともあり、家庭や地域にもエネルギーへの関心をもってもらえた
- ・1年生の取組や職員研修をとおして、エネルギー教育に興味を示す職員がでてきた
- ・リーフレットの配布により多くの学校関係者に本校のエネルギー教育を紹介できた

・ 今後への課題

- ・ 1年生を中心とした取組であったので、他学年の生徒には、まだまだ、エネルギーへの関心が低いので、次年度以降もエネルギー教育を継続したい
- ・ 山本先生の指導があったため、取組を進めやすかったので、エネルギー教育に詳しい専門家に指導してもらえると良い
- ・ 個人としての委嘱業務を学校の活動として取り組んだが、会計的にやりにくい
- ・ 資源エネルギー庁の事業であることを、もっとアピールできる形をつくってほしい